

新たな飛躍に向けてチャレンジ



フォルボ・ジークリング・ジャパンは、18年12月に会社設立50周年を迎えた。そして今年10月22日に設立50周年感謝の会を開催した。同社では、この50周年を境に、新たな飛躍に向けて「意欲的に、さまざまなことにチャレンジしていく」（佐藤守社長）方針だ。フォルボ・ジークリング・ジャパンの今後の経営方針について、佐藤守社長に聞いた。

佐藤 守 社長

生産性の向上が一番の課題 ダイナミックな改革が必要

設立50周年感謝の会は、1年ほど前からプロジェクトを立ち上げ準備を進めてきた。お陰様で式典をつつがなく終えることができたことを嬉しく思っている。今回は、お取引様の弊社に対する多様な貢献に対して、感謝を述べることが一番の趣旨だった。それに加えて、これから当社がどんなチャレンジをしていくかを皆さんに伝えたいと考えていた。

感謝の会でも申し上げたが、これからは、いろいろとチャレンジしていかなければ、製造業として、ベルトメーカーとして生き残れないだろうと強く感じている。

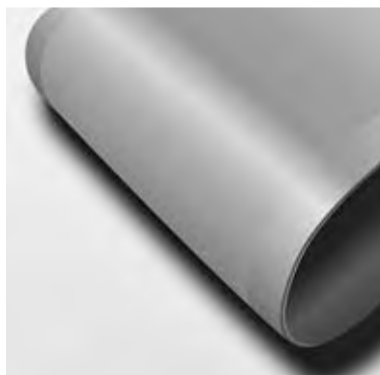
一般的に、『日本は生産性が低い』と言われていたが、当社としても、いかに生産性を上げていくかということが一番の課題と理解している。工場での生産体制の見直しやサプライチェーンの改善も含めて、もっと高度化していく必要があるだろう。50周年を境に、今後どうしていくかを、社員全員で議論し、方向づけていきたい。

グローバルカンパニーにありがちなことだが、グローバル的な考え方を重視するあま

り、ローカルな視点に欠けてしまうことがある。グローバルな観点からの政策だけでなく、ローカルオペレーションも重視し、ローカル市場にフィットする手法で戦略を遂行できると考えている。また従業員がより働きやすい環境を整えることも重要で、仕事のやり方自体を変えるようなダイナミックな改革が必要だ。

ベルトメーカーは、ベルト販売と現地エンドレスの2つのプロセスで成り立っているが、販売代理店の方々とはもっと連携しながら、ユーザーに対して、いかに迅速に製品供給できるか取り組んでいきたい。ユーザーにもっとも近いところにいるエンドレス業者とは、さらにネットワークを強化し、現場目線でのメンテナンスのカバー率を高めたいと考えている。

我々ベルトメーカーにとって、取引先である販売代理店やエンドレス業者の皆様の業績向上に寄与することが重要だ。取引先の業績が向上しな



主力製品の「Prosanフルシール HACCPシリーズ」



「プロリンク」

ければ、我々の業績向上もないと強く考えている。50年前にこうしたビジネスの体系を考えて構築してきた諸先輩方の遺産で、現在もビジネスが継続できていることに敬意と感謝を表すると共に、今後は、これをさらに進化・強化していかなければならない。



静岡工場

設立50周年記念講演会と感謝の会

10月24日、東京・六本木の国際文化会館で「設立50周年記念講演会ならびに感謝の会」を開催、主要取引先をはじめ業界関係者、同社幹部・従業員など150人が参集し、盛大に行われた。

当日はまず、スイスを代表するチョコレート会社のリンツ&シュプリングリージャパンのアンдре・ツイメルマン

れた感謝の会の冒頭で、佐藤社長があいさつ。「これまで当社は“まっすぐに、素直に、真摯に”をキーワードに進んできた。今年はおかげさまで3%の成長が見込め、来年も継続した成長を目指す。今後とも皆様のご支援をいただきたい」と述べた。

その後、来賓の在日スイス大使館商務担当参事官でスイ

150人が参集し、盛大に開催



記念講演会

代表取締役を講師に招き「変貌するグローバルズムで日本人が挑戦すべきこと」をテーマに「設立50周年記念講演会」を開いた。アンドレ氏は日本在住20年。流暢な日本語でスイスの文化、チョコレートの歴史におけるリンツの歴史や企業文化、日本でビジネスを成功させた苦労話など、日本でビジネスを成功させた経験から、日本人が異文化圏でチャレンジしなければなら

会場を移し、引き続き行わ

ス・ビジネス・ハブ日本代表のクラウドディオ・マツケリ氏が来賓を代表して「スイスと日本は、150年以上の長い国交があり、経済、文化両面でもとも友好関係にある。フォルボ・ジークリング・ジャパンが、日本でちゃんとビジネスを継続できるように陰ながら支援をしている。我々にとってフォルボは、大事なパートナーである」とあいさつした。

引き続き、ハシモトの山田徹社長が乾杯の音頭をとり祝宴となった。

フォルボ・ジークリング・ジャパン

▶▶会社概要

同社は1968年にエルンスト・ジークリング社（ドイツ）とエクマン商会との共同出資でエクストレマルタスベルト

として設立。横浜に工場を設置し、日本市場で初めての樹脂ベルト製品となる「エクストレマルタス」(伝動用平ベル

ト)を導入、販売を開始した。

75年にはエクマン商会から日本ジークリングに社名を変更。静岡県袋井市に工場を設置し、中軽搬送用樹脂ベルト「トランジロン」を製造。

その後、78年に本社を横浜

市中区に移転。94年にエルンスト・ジークリング社（ドイツ）が保有する全株式をスイス・チューリッヒに本社を置くフォルボ・ファイナンス社へ譲渡し、フォルボ・グループ傘下へ入った。

国内では82年と97年に静岡

工場を増設し、ローカル生産を強化し、マーケット拡大に努めた。07年には、社名もフォルボ・ジークリング・ジャパンに変更、本社も大崎に移転して、現在に至っている。

資本金は3億3,000万円。従業員は185人。